

Forward CPEC-UH



第003号

■編集：
兵庫県立大学淡路キャンパス
(緑環境景観マネジメント研究科)
大学間連携事業推進室

このコミュニティ・プランナー育成事業では、宮城大学と兵庫県立大学の大学間連携だけではなく、地域のさまざまな機関とも連携を図って進めています。2012年度は、宮城県、気仙沼市、白石市、大崎市、南三陸町、蔵王町、兵庫県立淡路景観園芸学校、一般財団法人公園財団、国営みちのく杜の湖畔公園事務所、宮城蔵王観光株式会社と「大学間連携共同教育推進事業の共同実施に関する協定」を締結いたしております。

今回は兵庫県立大学関係者が、このうち宮城県内陸部の連携先を訪問しました。

■連携先を訪問し、それぞれの地域課題と今後の取り組み方を協議

高坂 誠（連携共同教育推進事業協議会副委員長・兵庫県立大学副学長）

2月14日から16日にかけて宮城県を訪問し、宮城大学、連携先、宮城県南部沿岸の被災地を視察してきました。同行したのは池田経営学部長、小林大学間連携事業推進室長、菅野学務部長でした。

2月14日は宮城大学の二つのキャンパスを訪問し、西垣学長、園部理事、森山食産業学部教授ら宮城大学側の責任者と、次年度以降の方針について意見を交わしました。翌15日にはまず宮城県庁で伊藤震災復興・企画部長に、大崎市では伊藤市長、高橋市民協働推進部長に、白石市では風間市長、太齋副市長に、蔵王町では齋藤副町長に、最後の宮城蔵王観光では齋藤常務取締役役に、それぞれお目にかかり、共同実施協定を締結しながら、

これまで直接お話しする機会がなかったことをお詫びすると共に、今後の活動への協働について意見交換をさせていただきました。

翌16日は宮城県南部沿岸地域に向かい、仙台市、名取市から山元町の被災地を視察しました。仙台市では、最も早くから開設された大規模な「あすと長町仮設住宅」など、いくつかの仮設住宅を訪問しました。吹雪のなか訪れた海岸の若林区荒浜地区から名取市閑上地区にかけての津波被災地は、依然としてほとんど手つかずの荒涼たる光景が続いていました。宮城県南東端の山元町では、3箇所の高台移転地区の一つである坂元地区のまちづくり協議会ワークショップ(宮城大学地域連携センターが支援)を見学しました。



■右が風間白石市長、左が高坂副学長（白石市庁舎にて）



■山元町坂元地区まちづくり協議会ワークショップ（山元町坂元公民館にて）

■宮城大学-兵庫県立大学連携共同教育事業協議会（第2回）を神戸で開催

日時：平成25年1月25日（金）13：30～15：00

場所：兵庫県立大学 神戸学園都市キャンパス
本部棟2階中会議室

参加者

① 宮城大学

西垣学長、園部理事、井上副研究科長、齋藤食産業学部学部長、森山推進室長、平岡教授、阿部（幹）講師、蜂谷副参事、酒井主幹、伊佐、中嶋研究員、以上11名

② 兵庫県立大学

清原学長、高坂副学長、池田経営学部長、西井准教授、関環境人間学部学部長、井関准教授、牛尾准教授、塩見准教授、平田研究科長、斉藤教授、久保田淡路園芸副校長、足立総務部長（淡路キャンパス）、菅野学務部長、小倉学務企画課長、中安主査、小林推進室長、横田研究員、以上17名

<次第>

1. 開会

2. 挨拶（宮城大学：西垣学長／兵庫県立大学：高坂副学長）

3. 議事（議長～宮城大学：西垣学長）

（1）次年度（平成25年度）の事業計画について
兵庫県立大学は小林室長から、宮城大学は森山室長から、それぞれ資料に基づいて報告。

（2）進捗状況報告（カリキュラム・人材像について）
各班長から報告後、各部会担当者より報告。

（3）次回の会議開催予定について

3月20日に東京開催を兵庫県立大学が提案したが、宮城大学がキックオフシンポジウムをこの日程で計画しているため、仙台で会議をし、その後にシンポジウムに参加と予定を変更。

第3回の会議は3月20日（水・祝）に仙台（駅周辺）で開催予定。

4. 閉会



■清原学長挨拶（130125 兵庫県立大学本部）

その後、15：30より、グリーンケア、グリーンビジネス、グリーンデザイン、総括・事務系の各グループに分かれてワーキング。総括・事務系ワーキングでは25年度の予算について検討しました。

西垣学長と園部理事（宮城）、高坂副学長（兵庫）は三木防災公園、Eディフェンスを見学。

最後に、全員が合流して兵庫県立大学学園都市キャンパス大学生協「ビオール」で交流会を行ないました。

■兵庫県立大学震災記念公開シンポジウム「東日本大震災の被災地の復興を知る、考える、創造する」

1月26日土曜（協議会の翌日）に、兵庫県立大学防災教育センター主催のシンポジウムが、連携事業のキックオフ・イベントの一環として、HAT神戸・人と防災未来センターにおいて、開催されました。

西垣宮城大学理事長・学長と清原兵庫県立大学学長の挨拶に始まり、以下の4つの講演が行われました。

1「南三陸町からのメッセージ」宮城県南三陸町・すばらしい歌津をつくる協議会会長 小野寺寛氏

2「終わらない原発事故。放射能と私たちの日常生活」福島県相馬市・農事組合法人浜通り農産物供給センター代表理事 三浦広志氏

3「復興まちづくりの現状と課題～宮城県南三陸町の現場から～」宮城大学事業構想学部 平岡善浩氏

4「復興とは何か？～大槌高校生による復興まちづくりスゴロクの試み～」兵庫県立大学特任教授・大学間連携事業推進室長 小林郁雄氏

各講演を題材に、4つの班に分かれ講師も交えて、学生達がワークショップ形式で「発見、疑問、提案」など感想をまとめ、相互に発表しました。



■B班「原発被害と産業復興」三浦氏を交えて

■兵庫県立大学・宮城大学グリーンケア合同研修会が行われました

平成 25 年 1 月 26 日（土）・27 日（日）の両日、兵庫県立大学淡路キャンパスで、グリーンケア合同研修会が行われました。兵庫県大からは豊田准教授他 7 名、宮城大からは森山教授他 5 名の参加がありました。

1 日目、簡単な自己紹介の後、百聞は一見に如かずということで「ハーブの手浴」「花のお弁当箱（フラワーアレンジメント）」、2 つのグリーンケア体験を行いました。

ハーブの手浴では、キンセンカの花びらを浮かべたお湯に手を浸し、目を閉じてゆっくりとした時間を過ごした後、好みのハーブ（この日はローズマリー、アップルミント、ブラックミントが用意されました）をブレンドしたものを加えて、オンリーワンの香りを味わいました。「日常生活でこんな 10 分間なんてありえない。」「久しぶりに癒された。」「足湯にもいいね。」など、お忙しい毎日を過ごしておられる先生方は癒しのひとときを体験されました。



「花のお弁当づくり」と題したフラワーアレンジメントでは、お弁当箱の色選びに始まり、思い思いのアレンジメントを行いました。彩り豊かな植物に触れ、何かに没頭する楽しみ、作品を他の参加者からほめられる喜びなどを体験され、「きれいにできた。」「結構、個性が出ますね。」「童心に帰ったようです。」「授業にも取り入れられるね。」などの感想が寄せられました。



午後はヨーロッパを中心としたグリーンケア、ソーシャル・ファームिंगの概念を学び、その幅広い概念、コミュニティ・プランナーにつながる可能性などについて考えました。宮城大の森本教授からは「農業では生産性のみが論じられ、そこに『ケア』という概念は全くなかったの、目から鱗です。ぜひ、学生にも学んでもらいたい。」というご意見も出されました。

2 日目は、両大学混成メンバーの 2 グループに分かれてディスカッションを行い、KJ 法により、兵庫県、宮城県それぞれの地域ニーズの洗い出し、グリーンケアをいかにして結びつけ、カリキュラムに反映していくかなどについて、活発な意見交換を行いました。



また、前日の「環境が人を癒す」という概念の解説を踏まえて、キャンパス内を散策し、実際に癒しの要素を探したり、園芸療法ガーデンで、植栽や対象者への配慮などに関する細かな説明を受けました。



午後は平成 25 年度の計画や各学部における科目履修、今後の調査・研究の方向性などについて活発な議論が行われました。

今回の合同研修会は、グリーンケアの概念、植物を使う療法の共通理解をさらに深めるとともに、植物やみどりの環境を利用した活動がセルフケア、コミュニケーション・ツールとして役立つことを体験するいい機会となりました。（連携事業推進室 横田 優子）

【これからの予定】

- 兵庫県立大学被災地ボランティア派遣（第6次）
 - ・3月4日（月曜）～7日（木曜）
 - ・宮城県南三陸町歌津・平成の森
- 兵庫県立大学学部間事業推進協議会（第4回）
 - ・3月6日（水曜） 1700～1930
 - ・学園都市キャンパス本部・中会議室
- 淡路キャンパス・グリーンデザイン班現地活動
 - ・3月7日（木曜）～10日（日曜）
 - ・宮城県石巻市・プレイパーク
- グリーンケア研修会・視察
 - ・3月18日（月曜）～19日（火曜）
 - ・宮城大学太白キャンパス・食産業学部等
- 第3回両校協議会
 - ・3月20日（水曜・祝）1000～1200
 - ・メトロポリタンホテル仙台
- キックオフイベント・宮城大学シンポジウム「コミュニティ・プランナー育成のための教育と実践」
 - ・3月20日（水曜・祝）1330～1600
 - ・メトロポリタンホテル仙台 4階「千代の間」
 - ・懇親会（1600～1730）
- 市民ボランティア講座開催
 - ・3月29日（金曜）
 - ・宮城
 - ・AGN 参加予定者 6名

【連携事業推進室から】

2月8日に、伊佐研究員を訪ね、宮城大学太白キャンパスの企画推進室を訪問し、白幡さんにはじめてお目にかかりました。ちょうど机や衝立が設置されようとしているところでした。

事務棟の学務課で蜂谷さん、首藤さんにご挨拶をうかがい、24年度決算や25年度予算について少し打合せをして、企画推進室に戻りましたら、すっかり執務室らしい整備が出来ておりました。（小林郁雄）

3月シンポジウム

兵庫県立大学・宮城大学連携共同教育推進事業 キックオフ・シンポジウム

「コミュニティ・プランナー育成のための教育と実践」

東日本大震災以降、日本中で「人と人とのつながり」や「地域コミュニティ」の重要性が見直され始めています。しかし一方で、地方都市では人口減少と高齢化が加速し、こうしたつながりを取り戻し、生活基盤である地域コミュニティを活性化することは喫緊の課題でもあります。宮城大学・兵庫県立大学では、両大学の教育コア3分野（ケア・ビジネス・デザイン）から、こうした課題に取り組む人材（コミュニティ・プランナー）育成のための教育課程の構築に取り組み始めました。今回は各分野で既にご活躍中のパネリストからご意見を賜り、コミュニティ・プランナー育成のために、地域の皆さまとの協働に向けて話し合いたいと思うますので、コミュニティづくりに対し、是非皆さまのご意見をお聞かせください。

次第：
学長挨拶 宮城大学 学長 西垣 克
第1部：基調講演
大阪府立大学生命環境科学研究科緑地環境管理分野増田昇教授
第2部：シンポジウム

- ・大学間共同教育推進本事業の説明（平岡先生）
- ・地域コミュニティの今日的課題の解決に向けて（森山先生）

- 1) 地域コミュニティの抱える今日的課題
白石市長 風間康静氏
- 2) 地域コミュニティの課題解決に向けた取り組み事例
グリーン・ケア：兵庫県立大学大学院緑環境景観マネジメント研究科 豊田正博准教授
グリーン・ビジネス：宮城大学事業構想学部 風見正三教授
グリーン・デザイン：長野大学環境ツーリズム学部 三田育雄教授
- 3) これからの地域コミュニティづくりとは
ーコミュニティ・プランナー育成教育への期待ー

・パネリストの方々と増田先生からのご発言

主催：宮城大学・兵庫県立大学 共同教育推進事業企画推進室



兵庫県立大学淡路キャンパス（緑環境景観マネジメント研究科） 大学間連携事業推進室
UNIVERSITY of HYOGO Promotion Office for Inter-University Collaborative Program
〒656-1726 兵庫県淡路市野島常盤 954-2 Phone 0799-82-3126
Hyogo-ken Awaji-shi Nojimatokiwa 954-2
E-mail suishinshitsu@awaji.ac.jp